

安平町自治体DX推進計画は、住民等が情報通信技術の便益を享受できる社会の実現を目指すための、町全体のデジタル化の指針となるものである。

推進計画の柱

- ・ デジタルガバメントの実現
- ・ デジタルエデュケーションの推進
- ・ デジタルデバイドの解消

【考え方】

- ・ 自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げること。
- ・ 町民が情報通信技術の便益を享受できるよう、情報通信技術の利用のための能力又は利用の機会における格差の是正を図り、住民自身のデジタル技術活用に寄与に繋げること。
- ・ 以上を踏まえた当町の実情に応じた実現可能な範囲で策定し、令和5年度を始期とした5か年のビジョンを描くこと。

デジタル技術の特性を活かした効率的な行政サービスの提供と職員の業務改善を目指す。

▶令和3年度

オンライン申請の実現

▶今後想定される施策展開

オンライン申請100%とQRコードをはじめとした電子納付の実現

自治体職員の業務改善・意識改革や、デジタル知識の習得

デジタルファースト型の行政サービスへ変革を

住民自身のデジタル技術活用に向けて、全ての年齢層に向けた学ぶ機会の提供を目指す。

- ▶ 想定される施策展開
 - スマホ教室
 - パソコン教室
 - プログラミング教室 等

住民自身が学び、情報通信技術の便益を享受する仕組みを

全ての住民に平等な通信環境の提供を目指す。

- ▶ 令和3年度
高度無線環境整備推進事業（町全域）
- ▶ 想定される施策展開
公共Wi-Fi整備

※デジタルガバメントの実現・デジタルエデュケーションの推進は、「ソフト系」で、デジタルデバイドの解消は「ハード系（基盤等）」で整理を図っている。

情報通信技術の利用のための機会・基盤の構築を